

令和4年度アグリテック活用推進セミナー～スマート農機から得たデータの活用編～を開催しました

令和4年度アグリテック活用農業推進セミナー～スマート農機から得たデータの活用編～を開催したところ多くの方にご参加いただきました。今回はその内容をご紹介します。

○講演

アグリテック機器および営農管理システムにより得られるデータについて

講師 株式会社日本能率協会コンサルティング生産コンサルティング事業本部コンサルタント

柳沼草介氏

・アグリテック機器から得られるデータの内容および活用方法

スマホ、タブレット、PCで作業実績等を記録して、作物別や圃場別の作業内容を整理すること。整理したデータを基に収益性の見える化することや栽培計画や作業方法を改善することについて説明がありました。

・日報の記録は特に重要

日々の記録の積み重ねがデータとなり、その上での解析であること。解析により諸かる農業経営の基礎ができるとの事です。データは宝なので、ぜひ記録を大切にしたいとのお話でした。



写真1 営農管理システムの概要について講演

○事例紹介

1. ドローンによるセンシングから得たデータの活用

講師 農事組合法人iファーム
代表理事 三浦章彦氏

・アグリテックを導入した動機

「後継者となる若者に農業のノウハウを継承すること。水稻生育の診断を長年の経験から行ってきたが、後継者に技術を継承するには、データに基づく管理が必要」とのお話でした。

・ドローンによるセンシング

ドローンによる水稻のセンシング(7月)により得られた生育量のデータから、追肥量を決定していることについて説明がありました。具体的には、業者にセンシングを依頼し、数日後にデータを業者から得ます。データは1筆ごとに生育ムラがわかるように図示されます。データを参考にして10aあたりの肥料の散布量、散布時間、ドローンのシャッター開度を決定しています。データは営農管理システムに集積されるので、過年度データとの比較は可能であり、圃場の特徴が見えてくるので、次期作の肥料設計にも活用できるとのことです。

2. 営農管理システムの活用

講師 株式会社アグリ東北
常務取締役 鈴木健也氏

・営農管理システムによるデータ収集

アグリ東北では営農管理システムにデータを転送できるトラクター、収量食味センサー付きコンバイン、



写真2 会場の様子

GPS可変施肥対応可能な田植機等を所有しており、各機器からの作業状況等のデータを集積するとともに、どのほ場に誰が作業しているかがわかります。作業前後には、得られたデータの解析結果をプロジェクターで投影し、各作業員に作業指示を行うとともに、作業員からは危険箇所やほ場の状況等について報告が行われて情報共有が行われています。以前は収穫する必要のあるほ場を収穫していないなどの作業漏れがあったが、アグリテック導入によりどのような事例が少なくなり、効率的な営農がなされるとのお話がありました。

・収量コンバインの活用

収量コンバインにより、ほ場ごとの収量を把握し、その多寡に応じて施肥量を変え、適正な水稻生育を得ることで、効率的な施肥管理等に活かしているとのことでした。

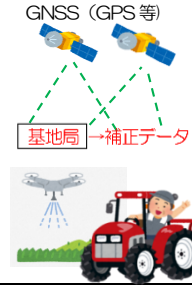


写真3 営農管理システムによるほ場マップ

1 「宮城県RTKシステム」利用申込案内

宮城県 RTK システム利用申込受付中

- 1 配信サービス：令和5年3月上旬からテスト運用開始（正式運用は、令和5年4月1日から）
- 2 申込期日：第1期：令和5年2月24日（金）必着
第2期：令和5年4月以降予定



3 運用の概要

- (1) 利用者：農業者、農業法人、農業関連企業等
- (2) 設置場所：県内7か所
- (3) 配信方式：Ntrip方式（インターネット回線によるデータ配信）
RTCM3.0及びRTCM3.2の同時配信
- (4) 負担金

ID発行数	年間負担金額	利用期間の区切
発行1つ目（1台目）	20,000円（税込）／台	4月1日から 翌年3月31日 （年度単位）
発行2つ目以降（2台目以降）	10,000円（税込）／台	

4 申込方法

- (1) 申込書類：運営要領・様式は、下記の県ホームページからダウンロードできます。
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nosin/rtk-system.html>
- (2) 申込先：宮城県農政部 農業振興課（郵送又は直接提出）
〒980-8570
仙台市青葉区本町3-8-1 宮城県農政部 農業振興課先進的経営体支援班
（RTK 受付）

2 アグリテックの活用をお考えの方へ「みやぎアグリテック* アドバイザー派遣事業」のご案内

- アグリテックの導入に関することや、効果的な活用・改善に関して、専門家または経験的立場から有効な助言・指導を行うアドバイザーを派遣します。
- アドバイザーの派遣に要する経費は無料です（県が負担します）。
- アグリテックの活用についてお悩みの方や今後の導入を検討している方はお気軽に農業改良普及センターまでご相談ください。

*アグリテックとは、農業に、スマート農業技術を含むICT（情報通信技術）等の先端技術を導入することで、省力、軽労化を図るなどの課題を解決することです。

*2 令和3年度派遣実績は14件（アドバイザー6名派遣）。

指導・助言の対象となるアグリテックの例



経営管理システムの活用 スマート農機の活用

先進農家のスマート農機の 環境制御システムの活用 牛群管理データの活用
導入効果

<利用手続等>

- お近くの農業改良普及センターに相談後、アドバイザーの選定、派遣となります。
- アドバイザー派遣の際には、原則として農業改良普及センター職員の立会いのもと支援を行います。
- アドバイザーの派遣には、日程調整等で時間を要することがありますので、利用の際はお早めに相談ください。

発行：宮城県農業革新支援センター（宮城県農政部農業振興課内）

〒980-8570 仙台市青葉区本町三丁目8-1 TEL 022-211-2837 FAX 022-211-2839

e-mail smart_miyagi@pref.miyagi.lg.jp